

- ⇒ 父である王「いったん約束したことは守らなければならない。」の教えを忠実に守って、食事をするなどのお付き合いをするが、カエルの「ベッドと一緒に寝よう。」との要求に、王女は、カエルを壁に叩きつけた。すると、カエルは王子に変わる。「ベッドと一緒に...」「壁に叩きつける」の表現が、版を重ねるごとに変化していく。  
19世紀市民階級 (Bürger) の道徳観の影響で表現法を変える。

1812年版

... macht dein Bettlein zurecht, wir uns bettlein zurecht, da wollen wir uns hineinlegen. ...  
「あなたのベッドをしつらえてください。そうして、われわれは心地よいベッドの中でいっしょにねむりましょう。」  
... warf sie ihn bratsch! An die Wand; ...  
「バシッ! と壁に叩き付けました。」

1857年版

... mach dein seiden Bettlein zurecht, da wollen wir uns schlafen legen. ...  
「...あなたの絹のベッドをしつらえてください。そうして、いっしょにねむりましょう。」  
... warf ihn aus allen Kräften wider die Wand. ...  
「力いっぱい壁に叩き付けました。」

- ⇒ カエルから変身した王子の表現 …… フランス語の外来語 “Prinz” → ドイツ語 “Königssohn”  
当時、フランスからキリスト教ユグノー派出身の多くの人々が、ヘッセン地方に流入してきていた。  
グリム兄弟は、それらフランス移住者たちから、多くのメルヒェンを聞き取った。その後、ドイツ語へ書き改めていった。

1812年版

ein schöner junger Prinz  
「若いきれいな王子さま」

1857年版

ein Königssohn mit schönenn und freundlichen Augen  
「きれいでやさしい目の元気な若い王子さま」

